

はじめに

難民事業本部では、日本で生活する難民定住者（インドシナ難民及び条約難民並びにそれらの家族、第三国定住難民等）の方々を対象とした定住支援事業の一環として、日本語学習を支援する事業を行っています。

その事業のひとつとして、難民定住者の方々に日本語教材を無償で援助する制度があります。これは、難民定住者に日本語教育を行っているボランティア団体、難民定住者を雇用する企業、難民定住者が在籍する学校等に本書「日本語教材ガイドブック」を配布し（当難民事業本部ホームページ（URL：<http://www.rhq.gr.jp/>）でも掲載しています）、援助を行うものです。

本書では、難民事業本部が運営する定住促進施設の日本語教育で使用していた教材、日本でのさまざまな生活場面を想定して難民事業本部が独自に開発した教材及び難民定住者の方々の効果的な日本語学習に資するべく選定された市販教材を掲載しています。

日本語を学ぶ難民定住者、または難民定住者の日本語学習を支援されているボランティア団体等の方々に本書を活用していただければ幸いです。

平成30年7月

公益財団法人 アジア福祉教育財団

難民事業本部

教材一覧

1. 難民事業本部作成・監修教材

① 成人難民のための日本語教材

にほんごえじてん	6
はじめましてにほん	6
日本語テキスト 日本の生活 ベトナム語・中国語版	7
日本語テキスト 日本の生活 ラオス語・カンボジア語版	7
漢字語彙集 ベトナム語版	7
漢字語彙集 ラオス語版	7
漢字語彙集 カンボジア語版	7
常用漢字表 (旧) ベトナム語版	7
常用漢字表 (旧) ラオス語版	7
常用漢字表 (旧) カンボジア語版	7
もじのれんしゅう	8
漢字の練習Ⅱ	8

② 児童のための日本語教材

ぶんけいれんしゅうちょうⅠ	9
文けいれんしゅうちょうⅡ	9
一年生のかんじ (Ⅰ)	9
一年生のかんじ (Ⅱ)	9
二年生のかんじ	9
三年生のかんじ	9
一年生のかんじれんしゅうちょう	9

③ 辞書

用例付語彙集 ベトナム語版	10
用例付語彙集 ラオス語版	10
用例付語彙集 カンボジア語版	10
用例付語彙集 ミャンマー語版	10
用例付語彙集 カレン語版	10
日常用語集 日本語－ベトナム語版	10
日常用語集 日本語－ラオス語版	10
日常用語集 日本語－カンボジア語版	10
日常用語集 ベトナム語－日本語版	10
日常用語集 ラオス語－日本語版	10
日常用語集 カンボジア語－日本語版	10
CD-ROM版 用例付語彙集・日常用語集 (ベトナム語・ラオス語・カンボジア語版)	10

2. 市販教材

① 成人のための日本語教材

〈総合教科書〉

あたらしい じっせんにほんご一技能実習編	11
みんなの日本語初級Ⅰ (第2版)	11
みんなの日本語初級Ⅱ (第2版)	11
みんなの日本語中級Ⅰ	12
みんなの日本語中級Ⅱ	12
Japanese For Busy People Ⅰ～Ⅲ	12
中級へ行こう 日本語の文型と表現55	13
中級を学ぼう 日本語の文型と表現56	13
社会参加のための日本語通信講座	13

〈ひらがな・カタカナ・漢字〉

あたらしい じっせんにほんご かなワークブック	14
みんなの日本語初級 漢字練習帳Ⅰ	14

みんなの日本語初級 漢字練習帳Ⅱ	14
1日15分の漢字学習 初級～初中級（上）	14
1日15分の漢字学習 初級～初中級（下）	14
1日15分の漢字学習 中級（上）	15
1日15分の漢字学習 中級（下）	15
〈ことば・文法〉	
漢字・語彙が弱いあなたへ	15
文法が弱いあなたへ	15
みんなの日本語 初級Ⅰ（第2版）書いて覚える文型練習帳	16
みんなの日本語 初級Ⅱ（第2版）書いて覚える文型練習帳	16
Do it yourself! ひとりでできる初級日本語文法の復習（英語版）	16
短期集中 初級日本語文法総まとめポイント20	16
中級日本語文法要点整理ポイント20	17
初級から中級への日本語ドリル（文法）	17
初級から中級への日本語ドリル（文法）チャレンジ編	17
〈日本語で話す・聴く・書く〉	
初級から始めよう にほんご会話トレーニング	18
聴解が弱いあなたへ	18
仕事を探そう -履歴書の書き方から面接まで-（CD-ROM教材）	18
新・わくわく文法リスニング100 耳で学ぶ日本語1	19
新・わくわく文法リスニング100 耳で学ぶ日本語2	19
まねして上達! にほんご音読トレーニング	19
留学生のためのここが大切 文章表現のルール	19

② 児童のための日本語教材

〈総合教科書〉

にほんごをまなぼう	20
日本語を学ぼう2	20
こどもの にほんご1	20
こどもの にほんご2	20
ひろこさんのたのしいにほんご1	21
ひろこさんのたのしいにほんご2（増補第2版）	21
JSL中学高校生のための教科につなげる学習語彙・漢字ドリル 英語版	21
日本語学級Ⅰ（初期必修の文字と語彙）	21
日本語学級Ⅱ（基本文型の徹底整理）	22
〈ひらがな・カタカナ・漢字〉	
かんじ だいすき（一）～（六）	22
かんじ だいすき（一）～（六）漢字・絵カード	23
別冊英語訳 かんじ だいすき（四）～（六）	23
〈中学に向けて〉かんじ だいすき～国語・算数編～	23
〈中学に向けて〉かんじ だいすき～社会・理科編～	23

③ 読書教材

レベル別 日本語多読ライブラリー レベル0（Vol. 1～3）	24
レベル別 日本語多読ライブラリー レベル1（Vol. 1～3）	24
レベル別 日本語多読ライブラリー レベル2（Vol. 1～3）	24
レベル別 日本語多読ライブラリー レベル3（Vol. 1～3）	24
レベル別 日本語多読ライブラリー レベル4（Vol. 1～2）	24
にほんご多読ブック Vol. 1	25
にほんご多読ブック Vol. 2	25
にほんご多読ブック Vol. 3	25
にほんご多読ブック Vol. 4	25
にほんご多読ブック Vol. 5	25
にほんご多読ブック Vol. 6	25
にほんご多読ブック Vol. 7	25
にほんご多読ブック Vol. 8	25

教材の援助について

(1) 援助を申請できる方

- ①インドシナ難民及び条約難民並びにそれらの家族、第三国定住難民等（以下「難民定住者等」）であって、ボランティア団体、事業所、学校等（以下「団体等」）などで指導を受けながら、日本語を学習している方、もしくは独学で日本語を学習している難民定住者等の方。
- ②難民定住者等に対し、日本語の指導を行っている団体等の代表者もしくは日本語の指導者の方。

(2) 申請書

申し込みをされる場合は、「難民定住者日本語学習教材援助申請書」を使用してください。なお、記入された内容の確認のために、難民事業本部から電話等で連絡する場合があります。

- ①難民定住者等の方は、「学習者用」に記入してください。
- ②団体等は、「指導者用」に記入してください。

所定の場所に、指導対象としている難民定住者等の名簿を記入してください。

また、指導している難民定住者等の申し込みを代行して行う場合には、「学習者用」の申請書と併せて、必ず「指導者用」の申請書を添付してください。

(3) 申し込み

申請書を次のところまで郵送して申し込んでください。

〒106-0047 東京都港区南麻布5-1-27 アジア福祉教育財団ビル2階
（公財）アジア福祉教育財団 難民事業本部業務第二係

(4) 問い合わせ

本書についての問い合わせは、難民事業本部業務第二係（電話03-3449-7013）にご連絡ください。

(5) 援助にあたっての注意

- ①難民事業本部の予算等の都合により、申請したすべての教材が援助の対象とはならない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ②援助は1人／1団体当たり原則として年度内に1回のみです。
（同一の援助内容のものについては、原則として年度が変わっても援助対象になりません。）
- ③送料をいただく場合があります（着払い）。
- ④送付までに多少お時間をいただきますので、あらかじめご了承ください。

リストの見方

- ① レベル
- ② 編集機関／執筆者
- ③ 出版社／発行機関
- ④ 版・発行年
- ⑤ 体裁等
- ⑥ 页数／巻数／枚数
- ⑦ 本体価格（諸般の事情により変更になる可能性があります。）
- ⑧ 表記／使用言語
- ⑨ 附属教材

姫 姫路定住促進センターで使用していた教材、あるいは配布していた教材

大 大和定住促進センターで使用していた教材、あるいは配布していた教材

国 国際救援センターで使用していた教材、あるいは配布していた教材

T: メインテキスト（主教材） Ca: カンボジア語 F: フランス語 L: ラオス語
S: サブテキスト（副教材） Ch: 中国語 J: 日本語 M: ミャンマー語
W: ワークブック（練習帳） E: 英語 K: カレン語 V: ベトナム語

教材の選び方

難民定住者の日本語学習のためには、どんな教材を選んだらよいでしょうか。

外国人に日本語を教える際、日本人の小学生向けの教科書を使用すると、期待する教育効果が得られない可能性があります。

それは、日本人の子供は小学校に行く年齢までには、すでに日本語の構造や表現をある程度理解しているのに対し、母語とは文法体系が違う日本語を白紙から学び始める外国人にとっては学習過程も異なり、何を難しいと思うかにも差があるためです。

効果的な日本語教育には、外国人学習者のために作られた教材を使うだけでなく、日本語を外から見て分析する必要があることは、市販されている教師用指導書や参考書等をお読みになるとご理解いただけるでしょう。

本ガイドブックには、成人のための日本語教材および児童のための日本語教材に分け、総合力をつけるための主教材だけでなく、文字教育や話す力、聴く力、書く力をつけるための補助教材も載せてあります。なお「読書教材」はどの年代の学習者でも使うことができます。

定住のための日本語学習について

インドシナ難民定住者の多くは、兵庫県の姫路定住促進センター（平成8年3月31日閉所）、神奈川県の大和定住促進センター（平成10年3月31日閉所）、東京都品川区にある国際救援センター（平成18年3月31日閉所）のいずれかで約4ヶ月、572時限の基礎日本語教育と約20日間の社会生活適応指導を受けています。

条約難民並びにその家族の一部と第三国定住難民の多くは、東京都新宿区にあるRHQ支援センターで約半年（昼間）～1年間（夜間）、572時限の基礎日本語教育と120時限の生活ガイダンスを受けています。

条約難民とその家族のコース

- ・半年コース：月～金の毎日9:30～15:50
- ・通年コース：月～金の毎日18:30～20:55

第三国定住難民コース

- ・半年コース：月～金の毎日9:30～15:50